

ロールモデル講演会 「女性・私・哲学」

2019年1月24日(木) 13:10-14:40

高知大学朝倉キャンパス 共通教育3号館 321教室

哲学を専門としている女性研究者に、育児をしながら大学院で研究した経験や、留学中や学会発表の際の子育てとの両立についてお話して頂きます。日本や海外で論文を出版する際に、研究者が改姓してしまうとどのような課題が生じてしまうでしょうか。また、特に女性研究者が少ないカント哲学の研究分野で女性が哲学することの課題について考えをうかがいます。

講師 **木村 恵子氏**
(前山形大学非常勤講師)

経歴

上智大学大学院哲学研究科進学後、DAAD（ドイツ学術交流会）奨学金によりミュンヘン大学大学院に留学。山形大学でドイツ語非常勤講師として勤務後、現在ミュンヘン大学博士論文執筆中。共訳書に『フィヒテ全集 第10巻』（哲書房、2015）、論文に「美感的判断力の分析論」における「関心」の位置（『日本カント研究』10、2009）等。

対象 学生・教職員・一般

申込み 参加ご希望の方は男女共同参画推進室までメールで、ご氏名・ご所属（外部の方は一般で構いません）を記載の上お申込みください。定員に余裕がある場合は、当日参加も可能です。

問い合わせ 高知大学男女共同参画推進室

TEL：088-888-8022 E-mail：sankaku@kochi-u.ac.jp

※「DCセミナー指定（博士）（文系）」

「黒潮圏セミナー指定（修士）（文系）」指定科目

世話教員 小島優子 人文社会科学系人文社会科学部門